

教育現場におけるコロナ対応に関し 北米社会科教師と 経験交流

—2020 年度北米社会科教師オンラインプログラム—

2020 年 8 月 21 日

経済広報センターは 8 月 21 日、新型コロナウイルスの影響で中止となった「北米社会科教育関係者招聘プログラム」の代替として、2020 年度北米社会科教師オンラインプログラム「教育現場におけるオンライン教育などコロナ対応について」を開催した。過去の招聘プログラムの参加者や訪問校の教師など約 40 名が参加した。

まず米国、日本から各 2 名の教師が、オンライン教育の内容や問題点、通常授業再開への動きなどを報告。国や地域による違いが確認された一方で、教科ごとの特性や各教師の IT スキルに応じてさまざまなツールを用いたオンライン教育が行われていることや、校内だけでなく登下校時の感染防止にも配慮していることなど、共通する事象も見受けられた。

その後の意見交換では、部活動や進路活動が制限されることへの悩みに共感が寄せられたほか、オンライン教育で活用しているソフトや、生徒の精神面のケアの方法などについて、日米加の教師間で具体例が紹介された。また、外部の専門家を招きやすいといったオンライン教育のメリットも挙げられ、今後に向けた「基準づくり」が必要との意見も出された。

会合中にはチャット機能を駆使した情報交換も活発に行われ、終了後に参加教師から、有意義な機会を得られたとの感想が多数寄せられた。同オンラインプログラムは今後も実施する予定である。

以 上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/>

<http://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。